

令和6年度住之江区運営方針振り返り(案)について

【防災・安全部会】

経営課題3 安全・安心なまちづくり



3-1 災害に負けないまちづくり

将来像 自助・近助・共助・公助による防災力の高いまち

課題 自助・近助に対する意識の向上 防災力の向上 減災のための環境整備



▲ この将来像に向けて2つの取組を進めています

【具体的取組3-1-1】 自助・近助・共助による防災力の向上と圧倒的多数の人材育成

取組 **地域の人材育成、地域の防災訓練、マイタイムライン・避難カードを活用した自助・近助の啓発、分散避難の啓発**
 <課題> 浸水想定認知など、防災意識の向上にむけた啓発について、効果的な方法を検討する必要がある。
 <改善策> 引き続き、浸水深カードや防災アプリ等を活用し、出前講座や訓練説明会等の機会を捉えて周知を行う。

P5

【具体的取組3-1-2】 減災のための環境整備

取組 **防災パートナーへの登録勧奨、津波避難ビルや災害時避難所の表示版等の整備**
 <課題> 災害に備え、津波避難ビルや防災パートナーを拡充し、避難場所等を充実させる必要がある。
 <改善策> 企業・NPO・学校・地域交流会の場を活用するなど、協力いただける企業等の拡大に努める。

P9

3-2 犯罪のない安心して暮らせる環境の実現

将来像 区民の日常生活での安全を確保できている状態

課題 防犯意識の向上 街頭犯罪防止のための環境整備

▲ この将来像に向けて2つの取組を進めています

【具体的取組3-2-1】 防犯意識の向上に向けた啓発

取組 **特殊詐欺被害防止キャンペーン、防犯出前講座の実施**
 <課題> 特殊詐欺被害が増加傾向にあり、詐欺被害防止キャンペーンを効果的に行う必要がある。
 <改善策> SNSを活用した啓発に加え、警察と連携した効果的な詐欺被害防止啓発を強化する。



P12

【具体的取組3-2-2】 街頭犯罪抑止のための環境整備

取組 **防犯パトロールの効果的なコース設定、ひたくり防止カバー取付キャンペーン、防犯カメラの適性な運用の実施**
 <課題> 街頭犯罪抑止にかかる、より効果的な取組や周知を行う必要がある。
 <改善策> 街頭犯罪抑止にかかる取組や周知を継続的に行う。

P13

令和6年度 住之江区運営方針

区の目標(何をめざすのか)

- 子どもから高齢者まで、住之江区で暮らし、学び、働くすべての人が、自分の将来に夢と希望を持って、地域など、周りの人々と幸せに暮らすことのできるまちをめざす。
- 住之江区の名前の由来のとおり、住みよい区、すなわち“e-SUMINOe”を「めざす将来像」とする。

区の使命(どのような役割を担うのか)

- 地域と共に進めるまちづくり
 - ・区民意見の反映
 - ・地域活動協議会、NPO、企業等の交流促進
 - ・若い世代との協働
- ICTを活用した情報発信の充実
 - ・分かりやすい広報
 - ・多様な手法を活用した情報発信

令和6年度 区運営の基本的な考え方(区長の方針)

- より安心して子育てができ、未来を担う子どもたちが夢と希望を持って学ぶことができる環境づくり
- すべての人々が住之江区に愛着をもち、自分らしく暮らせるまちづくり
- 自助、近助、共助、公助による備えのできた防災力の高い、安心して暮らせるまちづくり

経営課題3 安全・安心に暮らすために

【主なSDGsゴール】



めざすべき将来像(最終的なめざす状態)〈概ね10～20年間を念頭に設定〉

大規模地震や津波、水害等の自然災害に対し、自助・近助・共助・公助による備えのできた防災力の高いまちをめざす。また、ひったくりや路上強盗、特殊詐欺等、犯罪のない安心して暮らせるまちをめざす。

課 題

【災害に負けないまちづくり】

- 阪神・淡路大震災において自力脱出困難者の大多数は家族・近隣住民に救出された経験を踏まえ、「自助」「近助」に対する一層の意識の向上が必要である。
- 大阪市防災アプリや避難カードなど、効果的な手法を積極的に活用しながら、自助・近助・共助による防災力の向上と多数の人材育成により一層取り組む必要がある。
- 避難場所の拡充と避難所での物資の充実、災害に関する情報や避難所の所在を分かりやすく示す表示板整備など、減災のための環境を一層整備する必要がある。

【犯罪のない安心して暮らせる環境の実現】

- 各種キャンペーンや出前講座などを通じ、増加傾向にある特殊詐欺などの巧妙化する犯罪手口に関する情報の普及や注意喚起など、防犯意識向上に向けた意識啓発を、より一層進める必要がある。
- 青色防犯パトロールカーの巡回やキャンペーン活動、防犯カメラの適切な維持など、街頭犯罪防止のための環境整備に引き続き取り組む必要がある。

【主なSDGsゴール】



めざす状態

【令和3～7年度の5年間】

各家庭での災害への備えに対する「自助」、自主防災組織より身近で隣近所で助け合う「近助」、地域で助け合い被害拡大を防ぐ「共助」、区民の防災意識向上の啓発を行う「公助」で、総合的に災害に備えることができている状態。

戦略(中期的な取組の方向性)

指標

- 災害への知識を深め事前に備えることで、一人ひとりが災害に対応できる、自助・近助・共助による防災力を高める。
- 災害時に身の安全が確保できる避難場所の拡充を図るとともに、一人ひとりが避難行動を円滑に行えるよう環境を整える。

令和7年度末までに、区民アンケートで「お住いの地域や家庭で災害に対する備えができている」と回答する割合 60%以上

指標の達成状況

- 区民アンケートで「家庭で災害に対する備えができている」と回答する割合 79.2%(前年度 72.6%)
- 区民アンケートで「お住いの地域で災害に対する備えができている」と回答する割合 39.8%(前年度 39.3%)

取組の有効性：有効

課題

改善策

一人ひとりが災害に対応できるよう、区民の防災意識の向上に向け、持続的・効果的な啓発を行う必要がある。

広報紙やチラシ等の紙媒体による啓発を継続するとともに、防災アプリや避難カードなどについて、防災に関する研修や訓練など、様々な機会を活用した啓発に努める。

自己評価

経営課題3

安全・安心に暮らすために

【具体的取組3-1-1】

自助・近助・共助による防災力の向上と圧倒的多数の人材育成

| 計画 | 取組内容 | 指標 |
|------|--|---|
| 自己評価 | <p>取組実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域防災訓練 14地域(17回) ●人材育成 6中学校、8小学校 ●防災出前講座 15回、防災リーダー研修 4回 ●広報紙 特集2回、区防災マップを全戸配布 | <p>達成状況</p> <p>55%</p> <p>未達成</p> |
| | <p>課題</p> <p>浸水想定認知など、防災意識の向上にむけた啓発について、効果的な方法を検討する必要がある。</p> | <p>改善策</p> <p>大和川の氾濫及び南海トラフ巨大地震による津波浸水の被害想定2種について、その地点の浸水深を表記した浸水深カードの掲示や大阪防災アプリ、「避難カード(携帯版)」等を活用し、地域・学校・企業等への出前講座や訓練説明会等の機会を捉えて周知を行う。</p> |

クローズアップ —取組の解説—

■中学校での防災人材の育成

中学生やその保護者世代の方々が防災への備えと知識を持ち、ご近所とつながり、災害時に行動できる人材を育成・支援(中学校と地域の連携した防災まち歩きや避難所開設訓練の実施)します。

【令和6年度実績】

区内7中学校のうち6校実施



経営課題3

安全・安心に暮らすために

【具体的取組3-1-1】

自助・近助・共助による防災力の向上と圧倒的多数の人材育成

委員からのご意見

分類

対応方針

【部会】

自助、共助で物資を備えるにあたり、フェーズフリーという考え方を取り入れてはどうか。例えば、ハイブリッド車や電気自動車が停電時には電源になる、ウォーキングコースが避難経路になっているなどが挙げられる。構えることなく備えることができるのではないか。

【部会】

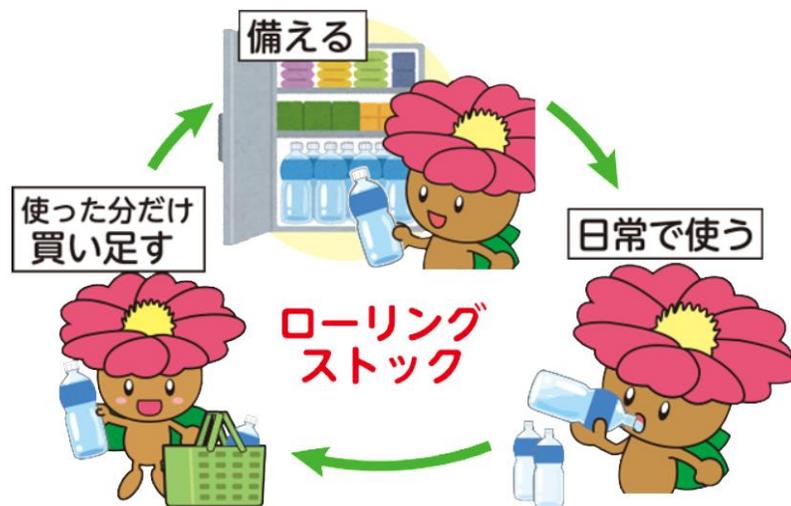
フェーズフリーな備えの一つとして、キャンプ用品が挙げられる。例えば、キャンプ用品の活用方法などを紹介する機会があってもよいのではないか。

【部会】

高層マンションの多い地域なので、(災害時には在宅避難、垂直避難が中心になるため、)マンションごとの備えが重要だと考えている。避難所の備蓄に頼るのではなく、個人の備えが重要である。

①

大阪市では、食料品や水などの備蓄を1週間程度備えるよう市民防災マニュアル等で啓発しており、フェーズフリーな備えの一つとして、缶詰やレトルト食品、トイレトペーパーなど日常生活で消費するものを少し多めに買い置きして、賞味期限が近づいたものは食べて、食べたものを補充するローリングストックの実践を推奨しております。引き続き、防災訓練や出前講座等の機会を捉え、自助の重要さやフェーズフリーの考え方等災害に対する備えについて啓発してまいります。



※分類 ①既実施 ②6年度において対応 ③7年度運営方針に反映または7年度に対応予定
④今後引き続き検討 ⑤対応困難または対応不可 ⑥その他

経営課題3

安全・安心に暮らすために

【具体的取組3-1-1】

自助・近助・共助による防災力の向上と圧倒的多数の人材育成

委員からのご意見

分類

対応方針

【部会】

マンションの悩みとして、要支援者を支援しながら垂直避難を行う際の、移動方法に苦慮している。階段がせまくて、担架では6人がかりでも3階以上への移動は重労働。消防署、特別養護老人ホームや障がい者関係施設などいろいろなところに相談したが、よい方法が見つかっていない。垂直避難の移動方法を防災リーダー研修で学べるとありがたい。

【部会】

防災リーダー研修で、大阪公立大学などの専門家による事例共有をしてはどうか。感震ブレーカー（震度5強以上で電気供給を停止）の取組や、災害時のペットの取り扱いの取組などを紹介してもらおうと地域の防災活動のヒントになると思う。

①

地域防災リーダーを対象に、自主防災組織が行う災害応急対策や防災活動に必要な知識及び技術の習得等、役割に沿った研修を年に3回程度実施しております。垂直避難の移動方法や専門家による事例共有なども含めて、引き続き有効な研修方法を検討し実施してまいります。



※分類 ①既実施 ②6年度において対応 ③7年度運営方針に反映または7年度に対応予定
④今後引き続き検討 ⑤対応困難または対応不可 ⑥その他

経営課題3

安全・安心に暮らすために

【具体的取組3-1-1】

自助・近助・共助による防災力の向上と圧倒的多数の人材育成

委員からのご意見

分類

対応方針

【部会】

マンホールトイレについて、災害時に地域の要請に応じて建設局が設置する流れは分かるが、照明の用意や設置後の掃除などの管理はどこが行うことになっているのか。また、避難所にマンホールトイレの代わりなるようなものを置いてほしい。

①

マンホールトイレで活用する照明やトイレットペーパーなどの備品の用意は行政が行います。設置後の掃除などの管理につきましては、基本的には行政を中心に地域のみなさまのお力もお借りしながら実施してまいりたいと考えております。
 避難所のトイレとして、備蓄倉庫に組み立て式のトイレを10台配備しており、発災後おおむね3日後には設置タイプの大きなトイレが運び込まれる予定となっております。また、避難所のトイレの便座が使える状態であれば、袋と凝固剤を使って便を処理する排便処理セットを備蓄倉庫に配備しております。



※分類 ①既実施 ②6年度において対応 ③7年度運営方針に反映または7年度に対応予定
 ④今後引き続き検討 ⑤対応困難または対応不可 ⑥その他

経営課題3 安全・安心に暮らすために

【具体的取組3-1-2】

減災のための環境整備

| 計画 | 取組内容 | 指標 |
|----|---|------------------------|
| | <ul style="list-style-type: none"> ●津波避難ビル等の避難場所や備蓄物資の充実を図るとともに、すみのえ情報局などを活用し、地域貢献を行う意思を有する企業・事業所、NPO・ボランティア団体等に災害対策に必要な協力を行っている。ただ「防災パートナー」の増加に向けて啓発し、依頼を行う。 ●災害時避難所の表示板及び誘導表示板等の設置・修繕を行う。 ●個別避難計画作成支援や中学校防災授業など、地域と連携した持続可能な仕組みづくりを行う。 | 防災パートナーの新規登録件数 2件以上 |

| 自己評価 | 取組実績等 | 達成状況 |
|------|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ●防災パートナー新規登録件数 4件 ●災害時誘導表示板の設置 4か所 ●津波避難ビル表示板設置 3か所 | 4件 <div style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">達成</div> |
| | 課題 | 改善策 |
| | 災害に備え、津波避難ビルや防災パートナーを拡充し、避難場所等を充実させる必要がある。 | 企業・NPO・学校・地域交流会の場を活用するなど、協力いただける企業等の拡大に努める。 |

クローズアップ –取組の解説–

■住之江区防災パートナーとして登録

【令和6年度実績 4件】

- 住之江ハイトラスト株式会社 ●NEXT. INNOVATION
- 藤井電機工事株式会社 ●グランドプリンスホテル大阪ベイ

■津波避難ビルとして協定締結

【令和6年度実績 7件】

- 株式会社LIXIL ●社会福祉法人ジー・ケー社会貢献会 ●グランドプリンスホテル大阪ベイ
- 市営新北島住宅3 ●市営新北島住宅4号館 ●市営東加賀屋住宅3号館 ●市営東加賀屋住宅4号館



大阪市
 つなみ ひなん
津波避難ビル
 Tsunami Evacuation Bldg.
 海啸避难楼 / 해일 대피 빌딩
 避難可能時間 (24時間)

経営課題3

安全・安心に暮らすために

【具体的取組3-1-2】

減災のための環境整備

委員からのご意見

分類

対応方針

【部会】

防災パートナーとして、住之江公園駅近隣にあるホテルや南港にある企業に協力いただいてはどうか。

住之江区では、地域貢献を行う意思を有する企業・事業所・NPO・ボランティア団体等を事前に登録し、災害に強いまちづくりを推進することを目的に「住之江区防災パートナー」を募集しており、令和6年度末現在で、22社に登録していただいております。引き続き、防災パートナーの増加に向けて啓発し、依頼を行ってまいります。

①



※分類 ①既実施 ②6年度において対応 ③7年度運営方針に反映または7年度に対応予定
④今後引き続き検討 ⑤対応困難または対応不可 ⑥その他

【主なSDGsゴール】



めざす状態

【令和3～7年度の5年間】

地域や関係機関と連携し、一体となって街頭犯罪の抑止並びに特殊詐欺の被害防止に取り組むことによって、区民の日常生活での安全を確保できている状態。

戦略(中期的な取組の方向性)

指標

- ひったくり、路上強盗などの街頭犯罪や還付金詐欺、オレオレ詐欺などの特殊詐欺等の犯罪に対する正しい防犯知識の普及と防犯意識の醸成により、犯罪を寄せ付けないまちづくりを進める。
- 警察などの関連部署や地域との連携のもと、みんなの目が行き届いた、犯罪が実行されにくい安全・安心なまちをめざす。

令和7年度末までに、区民アンケートで「安全・安心に暮らせるまちである」と回答する割合 80%以上

指標の達成状況

区民アンケートで「安全・安心に暮らせるまちである」と回答する割合 78.9%(前年度 77.3%)

取組の有効性：有効

課題

改善策

特殊詐欺の手口は、多様化しており、注意喚起や啓発を継続して行っていく必要がある。

引き続き警察と連携し、防犯出前講座や詐欺被害防止キャンペーンの実施、SNSを活用した啓発を行っていく。

計画

自己評価

経営課題3 安全・安心に暮らすために

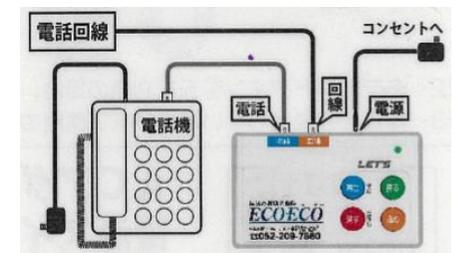
【具体的取組3-2-1】

防犯意識の向上に向けた啓発

| 計画 | 取組内容 | 指標 |
|--|---|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ●特殊詐欺に狙われやすい高齢者への対策として、金融機関や商業施設等を訪れた高齢者に特殊詐欺被害防止の呼びかけと、啓発内容を掲載したチラシ等を配布し、特殊詐欺被害を未然に防止するための取組を行う。 ●警察と連携しながら、特殊詐欺被害防止録音機の貸与を行う。 ●防犯意識の向上に向け、安まちメールの情報を元に、防犯出前講座等の機会を捉え、大阪府内で発生した特殊詐欺の手口や住之江区内で発生した犯罪事案の注意喚起を行う。 | 区民アンケートで「区の取組は区民の防犯意識の向上に役立っていると思う」と回答する割合 70%以上 |
| 自己評価 | 取組実績等 | 達成状況 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●特殊詐欺被害防止録音機の貸与 ●特殊詐欺被害防止キャンペーン実施 14回 ●防犯出前講座実施 57回 | 55.9% 未達成 |
| | 課題 | 改善策 |
| 特殊詐欺被害が増加傾向にあり、詐欺被害防止キャンペーンを効果的に行う必要がある。 | 作成した防犯啓発動画を使用し、すみのえ情報局等、ICTを活用した啓発を行う。また、警察と連携し、年金受給日に合わせキャンペーンを実施するなど、詐欺被害防止啓発を強化する。 | |

クローズアップ —取組の解説—

■特殊詐欺被害防止のため、「自動通話録音機」を無償貸与
 特殊詐欺の犯行手口として最初に用いられる手段は、自宅の固定電話に電話をかけることがほとんどとなっています。通話録音を活用することで、犯人からの電話接触を極力なくすることができることから「自動通話録音機」が特殊詐欺被害防止に有効です。
 令和4～6年度貸出件数住之江区273台大阪市5,686台(令和7年3月末時点)



経営課題3 安全・安心に暮らすために

【具体的取組3-2-2】

街頭犯罪抑止のための環境整備

| 計画 | 取組内容 | 指標 |
|--|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ●青色防犯パトロールカーなどにより、安まちメールで配信のあった情報をもとに、巡回強化ポイントを設定し、地域の巡回パトロールを実施する。 ●区役所や商店街などで、ひったくり防止カバー取付キャンペーンを実施する。 ●区役所管理の防犯カメラについて、巡回時の目視点検や業者委託点検により、適正な維持管理を行う。 | <p>区民アンケートで「区の実施は街頭犯罪抑止に効果があると思う」と回答する割合 70%以上</p> |
| 自己評価 | 取組実績等 | 達成状況 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●青色防犯パトロールの実施 午前午後合計 4コース ●犯罪発生箇所が反映された防犯マップを基にした即応効果的な巡回パトロールの実施 ●ひったくり防止カバー取付キャンペーン実施 12回 | <p>63.8%</p> <p>未達成</p> |
| | 課題 | 改善策 |
| <p>街頭犯罪抑止にかかる、より効果的な取組や周知を行う必要がある。</p> | <p>街頭犯罪抑止にかかる取組や周知を継続的に行うとともに、防犯カメラについて計画的なメンテナンスを行う。</p> | |

クローズアップ —取組の解説—

■防犯啓発

商店街等での、街頭犯罪(特殊詐欺やひったくり等)に関する注意喚起や、ひったくり防止カバー取付キャンペーンの実施など、まちなかで効果的な啓発を実施しています。



■青色パトロールカー

安まちメールで配信のあった情報をもとに、巡回強化ポイントを設定し、パトロールを実施しています。

